

最近の本学の取組等について

2019.8 ~ 2019.11

学内行事

1. キャンパスミーティングについて
2. 第5回ホームカミングデーについて
3. 防災訓練について
4. テクノフェア2019について
5. OB・OGトップセミナーについて

栄典

6. 2019年秋の叙勲の受章について

学生

7. 第9回キャチロボバトルコンテスト 優勝
8. 第55回全国国立工業大学柔剣道大会 団体戦優勝他
9. 第55回中部学生馬術女子選手権大会 優勝
10. ソーラーカー部 Bridgestone World Solar Challenge 2019 8位
11. 第54回中部日本学生拳法新人戦大会 団体優勝
12. 外国人留学生見学旅行について

新聞報道等

13. 本学に係る最近の新聞報道について

1. キャンパスミーティングについて

9月24日（火）本学大学会館集会室において、2019年度キャンパスミーティングが開催された。

キャンパスミーティングは、学長、理事、副学長ら大学執行部と事務局の関係幹部職員が、学生と自由に意見交換を行い、よりよい大学づくりを目指す目的で毎年開催している。今年は学部生、大学院生、留学生ら43名が参加した。

今回のテーマは「キャンパス環境について」で、問題点や提案等を学生自らがグループディスカッションを行い、学内の自転車に関することや学内Wi-Fiに関すること、留学生の生活に関すること等、学生が学生生活を送る上での学生目線からの様々な意見が出された。学長をはじめ大学側と活発な意見交換が行われた。



2. 第5回ホームカミングデーについて

日 時：10月26日（土）10時00分～17時00分
来場者数：約350名

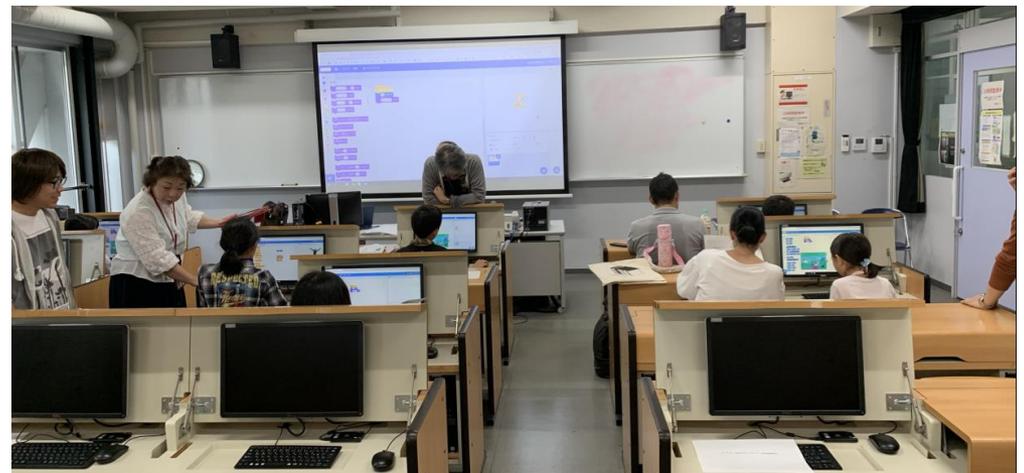
【学内見学ツアー】 10時00分～、10時10分～、11時00分～、11時10分～
学内に存在する記念碑や一部の研究室等を案内

【参加者体験型イベント】 10時00分～

今年度より小学生・中学生を対象とし、スクラッチ体験や液体窒素実験を行った。



学内見学ツアーの様子



参加者体験型イベントの様子

【歓迎式典】 13時30分～14時45分

- ・ 学長、名古屋工業会理事長の挨拶、大学活動報告(内匠理事)、大学業務報告(齊藤理事)
- ・ 記念講演会 松尾徳朗氏(公立大学法人首都大学東京産業技術大学院大学 教授)
「日本が次の時代に世界で勝ち組になるために」
- ・ 卒業50周年記念式典 ～半世紀遅れの卒業式～(151人)
学園紛争で卒業式が行われなかった昭和44年の学部卒業生に記念証書及び記念品を授与した。

【懇親会】 15時30分～17時00分

卒業生と教職員・現役学生の交流の場として懇親会を設け、課外活動(ロボコン工房、ソーラーカー部、フォーミュラプロジェクト)の活動報告等を行った。



松尾徳朗氏による講演



卒業50周年記念式典の様子



懇親会の様子

3. 防災訓練について

日 時：10月31日（木）12時00分～12時45分

対 象：御器所キャンパス全域

避難者数：1,946名

内 容：①全学避難訓練

○震度6強の緊急地震速報発報に伴う、初期対応と御器所地区全建物での避難場所への避難誘導及び残留者確認の実施

- ・シェイクアウト訓練
- ・全学避難訓練
- ・避難者確認訓練

②安否確認訓練(安否確認メールの一斉送信)

- ・72時間以内返信率 教職員:86% 学生:48%



避難場所(図書館前)



避難場所(グラウンド)での避難者受付



危機管理対策本部

4. テクノフェア2019について

日 時 : 11月1日(金) 10時00分～17時00分
 場 所 : NITech Hall
 テー マ : 心豊かな未来社会の創造
 プログラム :

《特別講演》12時40分～14時00分

・学長挨拶

・特別講演 「AI技術の活かし方」

中島 秀之 氏(公立大学法人札幌市立大学 理事長・学長)

「機械学習研究の現状と今後の展望」

杉山 将 氏(国立大学法人東京大学 大学院新領域創成科学研究科・教授)

《パネルディスカッション》14時10分～15時30分 「"AI × 製造業" がもたらす未来社会」



案内板



特別講演の様子



パネルディスカッションの様子

5. OB・OGトップセミナーについて

学内行事

日時：11月20日（水）15時00分～16時45分
場所：NITech Hall
講師：岸 宏尚 氏

トヨタ自動車株式会社 パワートレーンカンパニー President
機械工学専攻 昭和59年修了
演題「クルマづくりを通して社会に貢献する」

野田 英智 氏

中部電力株式会社 執行役員
物質工学専攻 平成3年修了
演題「”これまで”そして”これから”」



岸 宏尚 氏(経営協議会委員)



野田 英智 氏

6. 2019年秋の叙勲の受章について

瑞宝重光章 松井信行 元学長・名誉教授
 瑞宝中綬章 川嶋紘一郎 名誉教授
 常廣 讓 名誉教授
 松原十三生 名誉教授

<参考> 勲章別受章者数内訳（カッコ内の数字は、女性の受章者数で内数。）

内閣府HPから

	桐花大綬章	旭日章	瑞宝章	合計
大綬章	1 (0)	6 (0)	1 (0)	8 (0)
重光章	—	16 (1)	35 (0)	51 (1)
中綬章	—	63 (2)	316 (7)	379 (9)
小綬章	—	225 (8)	642 (9)	867 (17)
双光章	—	524 (32)	980 (119)	1,504 (151)
単光章	—	171(10)	1,132 (223)	1,303 (233)
合計	21(0)	1005 (53)	3,106 (358)	4,112 (411)

7. 第9回キャチロボバトルコンテスト 優勝

受賞団体：名古屋工業大学ロボ工房「天上天下唯我独尊」チーム

日 程：2019年9月15日（日）

場 所：京都外国語大学・森田記念講堂

成 績：優勝（参加28チーム）

大学生・高専生の技術レベル向上の支援、本気で「ものづくり」に取り組む姿勢を応援する目的で創設された大会「キャチロボバトルコンテスト」が開催された。

ワーク（栗山米菓「ばかうけ」）を分類し、搬送を行うロボットを製作した28チームで競い、本学ロボ工房「天上天下唯我独尊」チームが優勝した。



8. 第55回全国国立工业大学柔剣道大会 団体戦優勝他

入賞団体：柔道部、剣道部

日程：2019年8月31日（土）

場所：室蘭工業大学

成績：柔道団体戦 優勝、
柔道個人戦

優勝：舟橋和哉（情報工学科3年）

3位：杉江一鷹（社会工学科3年）

剣道女子個人戦

優勝：安藤千尋（生命・応用化学科3年）

準優勝：橋爪咲（社会工学科1年）

3位：辰巳日登美（社会工学科3年）



9. 第55回中部学生馬術女子選手権大会 優勝

受賞者：馬術部 杉山瑠理（電気・機械工学科4年）

日程：2019年9月14日（土）、15日（日）

場所：愛知県森林公園乗馬施設

成績：優勝（本学馬術部史上初）

Bridgestone World Solar Challenge 2019 8位

【概要】

競技会名 : Bridgestone World Solar Challenge 2019

日程 : 2019年10月13日(日) ~ 10月18日(金)

会場 : オーストラリア (ダーウィン~アデレード)

結果 : 3,000km完走、Challengerクラス8位



1 1. 第54回中部日本学生拳法

新人戦大会団体優勝

入賞団体：日本拳法部

日 程：2019年10月20日（日）

場 所：名古屋市千種スポーツセンター

成 績：優勝（創部初）

出場メンバー：

西本 秀峻	電気・機械工学科2年
奥村 瞭	電気・機械工学科2年
神崎 陽平	情報工学科2年
徳田 夏成	情報工学科1年
近田 陽太	名古屋市立大学医学部2年

今後の抱負

新入部員が練習の成果を十分に出せていたので優勝出来たと思います。しかし、この結果に満足せずに、これからの練習に励んでいきたいです。



12. 外国人留学生見学旅行について

学生

11月1日(金)に25名の留学生がヤマハ発動機株式会社及びヤマハコミュニケーションプラザを見学した。

本学は、名古屋大学、岐阜大学、名城大学とコンソーシアムを組み、文部科学省「留学生就職促進プログラム」により、留学生の就職を支援している。



13. 本学に係る最近の新聞報道について

○市民協働を促す基盤技術確立を目指して

2019年9月1日（日）の中部経済新聞の「研究現場発」の紙面において、本学の白松俊准教授が掲載され、シビックテック（課題当事者である市民とIT技術者が協力し、技術をうまく使って課題に取り組むこと）のような市民協働を支援する技術を研究開発していると紹介された。

研究活動がいずれ、市民と研究者・技術者の共創による社会課題解決につながるよう試行を重ねる予定である。

○内閣府イノベーション創出補助金 5大学に合計15億円配分

2019年9月20日（金）の科学新聞の紙面において、内閣府が「国立大学イノベーション創出環境強化事業」の採択校を公表、5大学に15億円を配分することが掲載された。

重点支援1類型・2類型の大学として、1位東京医科歯科大学（3億円）、2位山梨大学（2億円）、3位名古屋工業大学（1億円）に配分される。

○NITech Hall ネーミングライツの募集を開始

2019年9月25日（水）の日経産業新聞の紙面において、東海地方国立大学で初めての建物全体のネーミングライツ事業の募集を開始したことが掲載された。今回は、NITech Hallを対象として実施し、本事業の収入は、知の交流拠点であるNITech Hall及び「地域のニーズに応える人材育成と研究」をより一層充実させる費用に充てる。

○新型の光応答性タンパク質であるヘリオロドプシンの構造を解明

2019年9月26日（木）の日本経済新聞の紙面において、本学の神取秀樹教授らが、東京大学、名古屋大学の研究グループとともに新型の光応答性タンパク質であるヘリオロドプシンの構造を解明したことが掲載された。本研究成果は、ヘリオロドプシンの構造機能を明らかにするとともに、ロドプシンの多様性や新規ロドプシンの探索に役立つと考えられる。

○持続可能な社会実現期待

2019年9月30日（月）の科学新聞において、本学の増田秀樹名誉教授、片山精博士、和佐田裕子博士、猪股智彦准教授、小澤智宏教授らが常温常圧で窒素分子切断を達成した。この成果は、持続可能な社会の実現のための化石燃料に依存しない窒素固定法の開発につながるものである。

○碧海信用金庫と共同企画セミナーを開催

2019年10月4日（金）の中部経済新聞の紙面において、碧海信用金庫と本学産学官金連携機構との共同企画「『自動車プラスワン』を目指す！中堅・中小企業応援セミナー」が3日（木）に開催されたことが掲載された。本セミナーは新技術の導入や新規分野参入を目指す中堅・中小企業の支援を目的とし、江龍修副学長のポスト自動車産業をテーマした基調講演や、産学官金連携機構の取り組み等のパネルが展示され、地域の企業などから約110名が参加した。

○画像処理を専用プログラミング言語で高速化

2019年10月22日（日）の中部経済新聞の「研究現場発」の紙面において、本学の福嶋慶繁准教授が掲載され、少ないプログラム量で、多くのデバイス上で高速動作する技術を開発していると紹介された。

今後は、人工知能技術を活用したコンパイラの開発や、より柔軟な記述が可能なプログラミング言語の開発を進める予定である。

○半世紀遅れの「卒業式」

2019年10月27日（日）の中日新聞及び朝日新聞の紙面において、学園紛争で式がなかった1969年卒の半世紀遅れの「卒業式」が行われたことが紹介された。式には当時の卒業生の4分の1にあたる約150人が参加した。

○「リケジョ」2割 変わる名工大

2019年10月30日（水）の朝日新聞の紙面において、本学の女子学生比率が増えていることが紹介された。きっかけの1つは25年前に国立大学で初めて導入された「女子推薦入試」で、地元企業のニーズも後押しとなっている。

○微生物で汚染土壌浄化

2019年10月30日（水）の日刊工業新聞の紙面において、本学と竹中工務店が新規の脱塩素化微生物を使った汚染土壌・地下水浄化技術を共同開発したことが紹介された。本学では新規の脱塩素化微生物であるデハロココイデズ属細菌の分離に成功した。

○乗り物改革 CO₂減らす

2019年10月31日（木）の中日新聞の紙面において、本学の伊藤孝紀准教授の研究室がスマートフォンを使ったシェアサイクルの新システムの実証実験を始めることが紹介された。このシステムでは自転車の導入金額が安く、駅や観光地などに拡大したいと考えている。

○「名古屋六大学」発足へ

2019年11月13日（水）の日本経済新聞の紙面において、名古屋市中心部にある国公立の6大学（名古屋工業大学、名古屋大学、名古屋市立大学、南山大学、名城大学、中京大学）が「名古屋六大学」を掲げて連携する方針を決めたことが紹介された。国公立の垣根を越えて協力し、名古屋の大学を志望する若者を全国ベースで増やすことを目指す。

第一歩として、12月11日に大阪市内で6大学の学長が集まる「名古屋六大学トップメッセージフォーラム」が開催される。

**名古屋六大学
トップメッセージフォーラム**
2019年12月11日(木) 15:00～(閉場14:30)
TKPガーデンシティ大阪梅田
※会場は事前予約が必要です。

名古屋六大学
名古屋大学 名古屋工業大学 名古屋市立大学 南山大学 名城大学 中京大学

**名古屋六大学トップメッセージ
～競争から共創・協創へ 学長が語る教育のあるべき姿～**

名古屋大学 学長 松尾 浩一 (法政経法)	名古屋工業大学 学長 藤田 新之次 (工学経済)	名古屋市立大学 学長 藤田 二郎 (法政経法)	南山大学 学長 益兼 義久 (法政経法)	名城大学 学長 小畑 卓哉 (法政経法)	中京大学 学長 安村 仁志 (法政経法)
-----------------------------	--------------------------------	-------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

パネルディスカッション
モデレーター
小林 浩典 (ワット・エッセイ賞受賞者)
主賓
◆名古屋で学ぶ意義
◆「産学協創地・名古屋」の魅力など

定員200名 対象：高専卒業生、教育関係者(学長、副学長も可)※要予約

お申し込み方法
インターネット：お申し込みは申し込みフォームから、お申し込みが完了したら、資料を送ります。資料受付は有期限を過ぎるとはなりません。
FAX：本紙裏面に記載のFAX番号から申し込みのうえ、下記のとおりお電話にて確認をお願いします。FAXにてお申し込みをお送りします。資料は郵送いたします。
問い合わせ先：名古屋六大学フォーラム事務局(中京大学 広報課)
TEL: 052-826-7173 FAX: 052-826-7171

○進学ブランド力調査2019について

リクルートカレッジマネジメント218に掲載された「進学ブランド力調査2019」において、本学が以下のとおりランクインした。

※調査対象：関東エリア・東海エリア・関西エリアの高校に通っている
2020年3月卒業予定者

□知名度・志願度ランキング（調査対象：東海エリアの高校）

・知名度

理系		
全体	男子	女子
19位	13位	—

・志願度

全体			理系		
全体	男子	女子	全体	男子	女子
10位	5位	—	3位	3位	8位

□分野別志願度ランキング（東海地区の大学）

・情報

6位

・理学

4位

・生物, 農, 獣医, 林産, 水産

6位

・工学

(建築, 土木)

2位

・工学

(機械)

1位

・工学 (電気, 電子, 情報)

1位

ロイメージランキング（調査対象：東海エリアの高校）

・ 学生の学力が高い

全体	男子	女子
—	12位	—

・ 先進的な

全体	男子	女子
—	15位	—

・ 交通の便が良い

全体	男子	女子
11位	—	—

・ 自分の興味や可能性が
広げられる

全体	男子	女子
—	—	14位

・ 就職に有利である

全体	男子	女子
—	15位	—

・ 社会で役立つ力が
身につく

全体	男子	女子
—	14位	—

・ 将来の選択肢が増える

全体	男子	女子
13位	9位	—

・ 専門分野を
深く学べる

全体	男子	女子
—	—	11位

・ 卒業後に社会で活躍
できる

全体	男子	女子
14位	9位	—

・ 勉強するのに
良い環境である

全体	男子	女子
—	6位	—

・ 偏差値が自分に
合っている

全体	男子	女子
9位	4位	—

名古屋工業大学ネーミングライツ事業募集要項

国立大学法人名古屋工業大学（以下「本学」という。）は、「名古屋工業大学ネーミングライツ事業実施要項」に基づき、自己収入の拡大を図り、本学の教育及び研究に資することを目的として、ネーミングライツ事業を実施する事業者等を以下のとおり募集します。

1. ネーミングライツ事業とは
契約により、本学が事業者等（法人、法人以外の団体（以下「法人等」という。）若しくは法人等により構成された団体又は個人をいう。）に、本学の施設等（名古屋工業大学固定資産管理規則（平成16年4月1日制定）第3条第一に規定する建物及び構築物）の愛称を決定する権利である命名権を付与し、命名権を付与された事業者等からその対価として命名権料を得る事業をいいます。

2. 対象施設等

対象施設等名 NITech Hall

3. 応募資格

以下の各号に該当しない事業者等が応募できるものとします。

- ① 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号。以下「風俗営業法」という。）第2条に規定する風俗営業を営むもの及び当該営業に類する事業を行うもの
- ② 行政機関から行政指導を受け、改善がなされていないもの
- ③ 人権、教育、労働等に係る社会生活に支障をきたす問題を起しているもの
- ④ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下この号において同じ。）、その構成員（暴力団の構成員団体の構成員を含む。以下この号において同じ。）又は暴力団の構成員若しくは暴力団の構成員でなくなった日から5年を経過しない者の統制下にあるもの
- ⑤ 暴力団対策法第32条第1項第2号から第4号までに掲げるもの
- ⑥ 貸金業法（昭和58年法律第32号）第2条第1項に規定する貸金業を営むもの（銀行法（昭和56年法律第59号）第2条第1項に規定する者を除く。）
- ⑦ 賭け事に関する業種に属する事業を行うもの
- ⑧ 政治団体
- ⑨ 宗教団体
- ⑩ 会社更生法（平成14年法律第154号）又は民事再生法（平成11年法律第225号）の規定に基づく更生又は再生手続きを行っているもの
- ⑪ 国税、地方税等を滞納しているもの
- ⑫ その他ネーミングライツ事業に応募する事業者等として適当でないと認められるもの

4. 命名権の付与期間

命名権を付与する期間は、4年とします。

5. 命名権の付与条件

(1) 愛称

- ① 命名する愛称は、対象となる施設等の運営に支障を及ぼさないものとします。
- ② 命名する愛称の一部に、「NITech Hall」を用いることとします。
- ③ 大学の施設に相応しい愛称として、以下に該当するものは使用できません。

- ・法律、条例その他法令に違反するもの又はそのおそれのあるもの
 - ・公序良俗に反するもの又はそのおそれのあるもの
 - ・公衆に不快の念又は危害を与えるおそれのあるもの
 - ・特定の政党又は政治団体の宣伝に関するもの
 - ・宗教の宣伝又は布教活動に関するもの
 - ・個人、団体等の名譽、信用、正当な権利、財産等を損なうおそれがあるもの
 - ・著作権、商標権その他の知的財産権を侵害するもの又はそのおそれのあるもの
 - ・青少年の健全な育成を阻害するもの又はそのおそれのあるもの
 - ・風俗営業法第 2 条に規定する風俗営業に関するもの
 - ・貸金業法第 2 条に規定する貸金業に関するもの
 - ・たばこの広告及び喫煙を促すもの
 - ・社会問題の主義及び主張に関するもの
 - ・詐欺的な取引その他不当な取引とは認められない取引に関するもの
 - ・集团的又は常習的に暴力的不法行為等を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの
 - ・その他使用する愛称として適当でないと認められるもの
- ④ 組織等の正式名称は変更せず愛称を命名することとし、原則、契約期間中は、愛称の変更をすることができません。

(2) 命名権者のメリット

- ① 事業者等は、ネーミングライツ事業に係る施設等の愛称サイン、案内看板等を設置できます。なお、愛称サイン等の内容（デザインや大きさ等）等及び設置場所については、本学と協議が必要です。また、愛称サイン等の設置、変更及び命名権の付与期間終了後の原状回復に必要な費用は事業者等の負担とします。
- ② 本学の公式ホームページ等において、愛称への変更のお知らせ等を掲載するとともに、本学主催の行事等において対象施設を使用する場合は原則として愛称を付記するなど、積極的に愛称を使用します。ただし、パンフレット、シラバス等の印刷物については、愛称使用開始後に作成するものを対象とします。（広報媒体によっては、費用負担が発生する場合があります。この場合は協議により決定します。）
- ③ 学外の機関に対して対象施設の使用を許可するときは、「使用目的の行事等について、広く一般に広報するときや参加者を募集するときは、必ず会場名称に愛称を付記すること」を条件とします。

6. 応募方法

(1) 提出書類

- ① ネーミングライツ事業実施申込書
- ② 法人等の概要を記載した書類（会社概要）
- ③ 定款
- ④ 法人の登記事項証明書（発行 3 ヶ月以内のもの）
- ⑤ 直近 3 事業年度の決算報告書（貸借対照表及び損益計算書）及び事業報告書
- ⑥ 国税、地方税等を滞納していないことを証する書類（納税証明書等）

(2) 締め切り
2019年12月10日(火) 17:00

(3) 申請書提出先

名古屋工業大学施設企画課企画係
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
TEL: 052-735-5053
FAX: 052-735-5057
E-mail: sisetu@adm.nitech.ac.jp

7. 選定方法

選定に当たっては、応募資格、応募条件(命名権料)、愛称その他の提案内容、経営状況等を総合的に審査し決定します。また、応募者が1者のみの場合も、命名権者としてふさわしいかどうかを審査します。なお、命名権料が、本学が設定する命名権料の最低価額に達しない場合は選定を見送ります。

8. 選定結果の通知、公表

選定結果は、すべての応募者に通知します。審査の結果、選定基準を満たす者がいない場合には、命名権者を選定しないこととします。また、正式に契約を締結した後、その法人名、施設等の「愛称」等について本学のホームページ等で公表します。

9. 契約の締結

本学は、命名権者の決定を通知した事業者等と命名権の契約を締結します。

10. 命名権料の納入

原則、本学が発行する納入依頼書で指定された期日までに、指定した預金口座に一括で納入することになります。

11. 契約の解除

本学は、以下に該当するとき、命名権の付与を取り消し、契約を解除します。この場合、原則、既納の命名権料は返納しません。

- ① 指定する期日までに命名権料の納入がないとき
- ② 命名権者が、法令、本学の規程等に違反し、又はそのおそれがあるとき
- ③ 命名権者の社会的又は経済的信用が著しく失墜する事由が発生したとき
- ④ 命名権者から契約解除の申し出があったとき
- ⑤ 本学が命名権の付与を取り消すことを必要と認めるとき

12. その他留意事項

- ① 申込に要する経費等は、すべて申込者の負担とします。
- ② 提出された書類は、返却しません。
- ③ 提出された書類は、必要に応じ複写します。
- ④ 提出された書類は、独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年法律第140号)等の法令の規定又は検索機関の開示要請に基づき開示する場合があります。

13. 問い合わせ先

ネーミングライツ事業に係る申込の書類等をご提出いただく前に、まずは下記へお問い合わせください。

(書類提出に関すること)

名古屋工業大学施設企画課企画係

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

T E L : 0 5 2 - 7 3 5 - 5 0 5 3

F A X : 0 5 2 - 7 3 5 - 5 0 5 7

E-mail : sisetu@adm.nitech.ac.jp

(NITech Hallに関すること, その他)

名古屋工業大学学術情報課学術情報係

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

T E L : 0 5 2 - 7 3 5 - 5 0 9 8

F A X : 0 5 2 - 7 3 5 - 5 1 0 2

E-mail : library.soumu@adm.nitech.ac.jp